

社会資本総合整備計画

中間評価書

令和2年 2月 17日

計画の名称	圏央道・新国道4号を軸とした茨城埼玉交流圏域活性化計画		
計画の期間	平成28年度～令和2年度（5年間）	交付対象	埼玉県
計画の目標			

- ・茨城県と埼玉県を東西に連携させる首都圏中央連絡自動車道の開通と、南北に連携させる国道4号（春日部古河バイパス）の4車線化整備により、両県の2つの主軸として効率的なネットワークが形成された。
- ・この交通流の変化を契機に、県境を越えた交流・連携した取組により地域の価値を高め、魅力あふれる圏域づくりを進めていくことにより、新たな観光ルートの設定や各観光施設間の連携強化を図る。

計画の成果目標（定量的指標）

【茨城県・埼玉県 共通目標】 観光入込客8,233千人(H26)から8,297千人(H30)に0.8%増加  
 埼玉県（茨城埼玉交流圏域内）においては、観光入込客数を7,608千人（H26）から7,669千人（H30）に0.8%増加

定量的指標の定義及び算定式

【茨城県・埼玉県 共通目標】観光客数  
 観光客の増加割合 = (評価時点の観光客数 - H26の年間観光客数) / (H26の年間観光客数)  
 埼玉県（茨城埼玉交流圏域）における観光客数  
 観光客の増加割合 = (評価時点の観光客数 - H26の年間観光客数) / (H26年間観光客数)

定量的指標の現況値及び目標値			備考
当初現況値 (H26)	中間目標値 (H30末)	最終目標値 (R2末)	
8,233千人	8,297千人	8,331千人	
	0.8%	1.2%	
7,608千人	7,669千人	7,700千人	
	0.8%	1.2%	

拠点施設・重点地区

権現堂公園、東武動物公園、騎西城、鷲宮神社、道の駅きたかわべ、道の駅童謡のふるさとおおとね、道の駅アグリパークゆめすぎと、道の駅庄和

全体事業費（計画） （百万円）	合計 （A + B + C）	3,879	A	3,849	B	0	C	30	効果促進事業費の割合 C / (A + B + C)	0.8%
--------------------	-------------------	-------	---	-------	---	---	---	----	-------------------------------	------

事後評価（中間評価）

事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期

事後評価（中間評価）の実施体制	事後評価（中間評価）の実施時期
策定主体にて評価を実施し、その結果を県土整備部公共事業評価検討会議に報告し参考意見を聴取した。	令和2年1月
	公表の方法
	埼玉県県土整備部道路街路課のホームページ掲載

1. 交付対象事業の実施状況

交付対象事業																		
A 道路事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	種別	省略 工種	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費（実施） （百万円）	事業進捗	備考
											H28	H29	H30	R1	R2			
A11-001	道路	一般	埼玉県	直接	-	都道府 県道	改築	(一) 幸手境線・権現堂	1.4km（バイパス）	幸手市						302		一部未実施
A11-002	道路	一般	埼玉県	直接	-	都道府 県道	改築	(一) 蓮田杉戸線・新橋通り	0.9km（バイパス）	杉戸町・宮代町						0		一部未実施 （県単対応）
A11-003	道路	一般	埼玉県	直接	-	都道府 県道	改築	(一) 蓮田杉戸線・黒浜バイパス	0.6km（バイパス）	蓮田市						92		一部未実施
A11-004	道路	一般	埼玉県	直接	-	都道府 県道	改築	(一) 加須幸手線・大桑鷲宮バイパス	2.4km（バイパス）	久喜市・加須市						38		一部未実施
A11-005	道路	一般	埼玉県	直接	-	S街路	改築	(都) 杉戸久喜線・春日部久喜線・和戸	0.2km（バイパス）	宮代町						190		完了
											小計（〇〇事業）					622		
											合計							

B 関連社会資本整備事業													全体事業費(実施) (百万円)	事業進捗	備考		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 地区名	事業実施期間(年度)							
										H28	H29	H30				R1	R2
合計																	
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考		
C 効果促進事業													全体事業費(実施) (百万円)	事業進捗	備考		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 地区名	事業実施期間(年度)							
										H28	H29	H30				R1	R2
A11-006	道	一般	埼玉県	直接	-	-	茨城埼玉交流圏広域観光推進事業	パンフレットの作成 等	圏域全体						0	×	次年度実施予定
合計													0				
番号															備考		

交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		入込観光客数は着実に増加してきており、道路整備による周遊性の向上が観光客数の増加に貢献している。 【参考指標】 県外からの観光入込客数推移(全県) +33% (平成26年度 平成30年度)			
定量的指標の達成状況	指標 【茨城県・埼玉県共通目標】観光客数	中間目標値	8,297千人 (0.8%)	目標値と実績値 に差が出た要因	茨城埼玉両県における観光客数を集計した結果、増加傾向を示しており道路整備による効果が確認できる。
		中間実績値	9,254千人 (12.4%)		
	指標 埼玉県(茨城埼玉交流圏域)における観光客数	中間目標値	7,669千人 (0.8%)	目標値と実績値 に差が出た要因	首都圏中央連絡自動車道の周辺道路が整備されたことにより、観光拠点へのアクセス向上が図られたことで、観光客数が増加したと考えられる。
		中間実績値	8,474千人 (11.4%)		
3. 特記事項(今後の方針)					
今後、実施する事後評価結果を踏まえ、次期計画にて、引き続き両県の観光地間の周遊性を高める道路整備や、ICや観光施設までのアクセス性を向上させる道路整備を推進し、茨城埼玉交流圏域の活性化を図る。					

# 事業箇所図

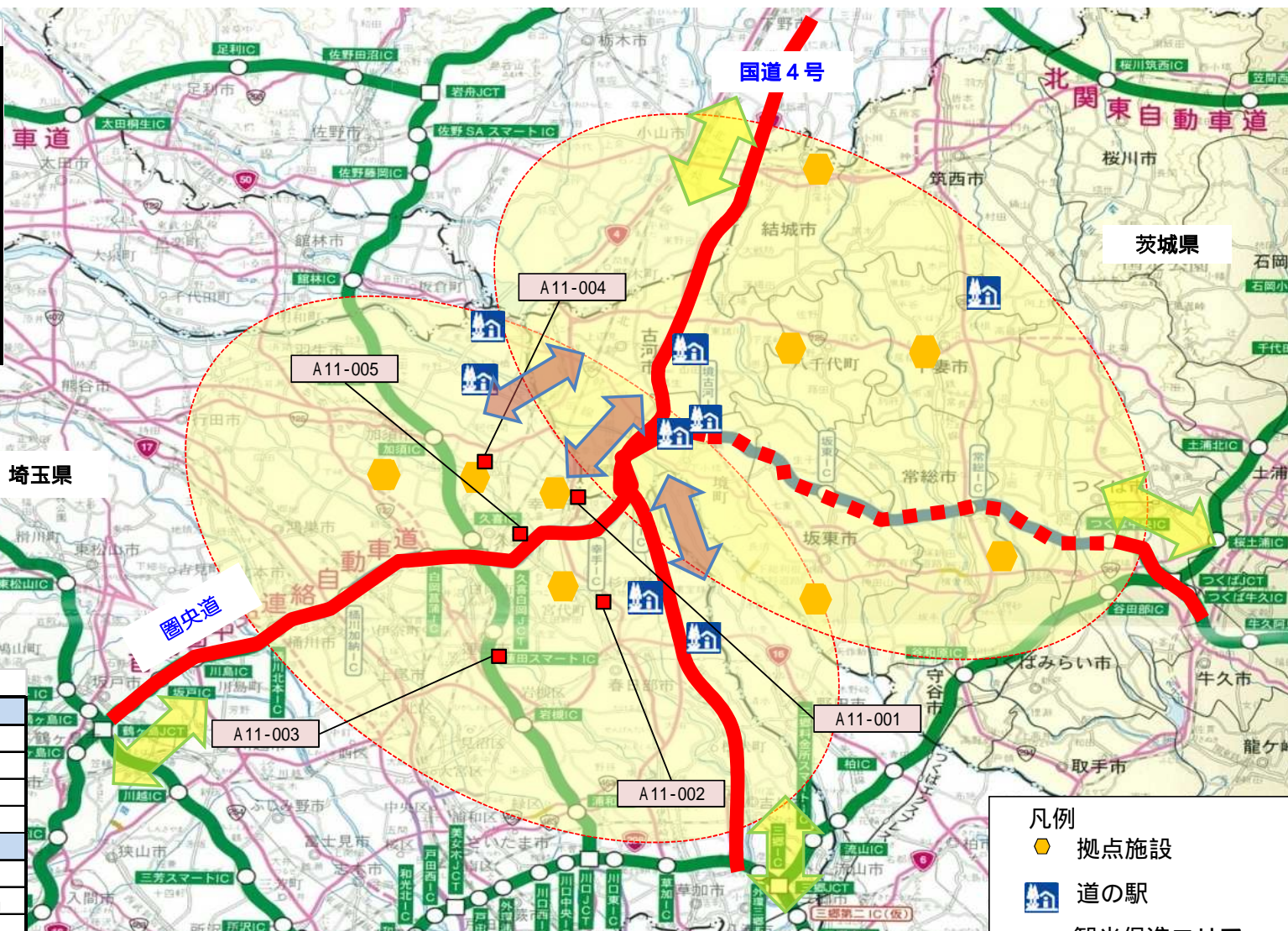
計画の名称	圏央道・新国道4号を軸とした茨城埼玉交流圏域活性化計画	交付対象	埼玉県（茨城県と連携）
計画の期間	平成28年度～平成32年度（5年間）		

**茨城県 拠点施設・道の駅**

<b>拠点施設</b>
八千代グリーンビレッジ
吉野公園
砂沼サンビーチ
結城袖問屋街
自然博物館ミュージアムパーク
<b>道の駅</b>
道の駅「ごか」
道の駅「さかい」
道の駅「しもつま」
道の駅「まくらがの里ごが」

**埼玉県 観光施設・道の駅**

<b>観光拠点</b>
県立権現堂公園
東武動物公園
鷲宮神社
騎西城
<b>道の駅</b>
道の駅「きたかわべ」
道の駅「童謡のふるさとおおとね」
道の駅「アグリパークゆめすぎと」
道の駅「庄和」



**凡例**

- 拠点施設
- 🏠 道の駅
- 🟡 観光促進エリア
- 要素事業（埼玉県）
- 🟢 地域外からの主要アクセス
- 🟠 茨城埼玉間のアクセス